

## 個別施設計画

策定年月 H30.1

施設名	岡山南高等学校			所在地	岡山市北区奥田二丁目4番7号		
敷地面積	36,946.06 m <sup>2</sup>			棟数	52 棟 (計画記載対象 15 棟)		
延床面積	18,110.45 m <sup>2</sup>				※対象は200m <sup>2</sup> 以上の建物(車庫、倉庫等は500m <sup>2</sup> 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	高等学校教育のため						
【想定される自然災害】							
予想震度		6弱		津波		-	
				浸水		-	
建築規制	市街化区域、第二種住居地域 建ぺい率60%、容積率200%						
エネルギー使用量 (2016年度)	電気	ガス	水道	燃料(灯油)			
	455,673 kwh	1,807 m <sup>3</sup>	7,255 m <sup>3</sup>	555 ㍓			
管理上の特記事項	敷地内未利用地 1,350.22m <sup>2</sup> 敷地内貸付地 なし 岡山市避難所(土砂災害、洪水、津波)協定による避難場所						

### 1 施設内建物の概況

名称	商品実習室棟(29棟)1-1	格技場棟(50-2棟)7-1	商業科特別教室棟(57棟)1-3
築年(西暦)	1961年	1970年	1971年
構造	鉄筋コンクリート造 2階	鉄骨造 2階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	270.84 m <sup>2</sup>	425.41 m <sup>2</sup>	124.30 m <sup>2</sup>
延床面積	541.68 m <sup>2</sup>	469.55 m <sup>2</sup>	464.31 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	ワープロ室 進路学習室	武道場	第一簿記室 計算事務室 第3パソコン室
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備	-	空調設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	不適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	特別教室棟(63-2棟)24-1,2	管理棟(67棟)27-1	特別教室棟(70棟)27-2
築年(西暦)	1972年	1976年	1977年
構造	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 4階
建築面積	331.76 m <sup>2</sup>	603.52 m <sup>2</sup>	598.68 m <sup>2</sup>
延床面積	1,327.04 m <sup>2</sup>	2,263.07 m <sup>2</sup>	2407.3 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	第1パソコン室 LL視聴覚室	校長室 事務室 保健室	教務室 化学室 図書室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	不適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	消火設備	該当なし	給排水設備 消火設備

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜がある場合は不適 ※5 地盤沈下がある場合は不適

名称	普通教室棟(73棟)29	特別教室棟(87棟)24	誠友会館棟(94棟)26
築年(西暦)	1978年	1980年	1973年
構造	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	292.00 m <sup>2</sup>	157.76 m <sup>2</sup>	256.43 m <sup>2</sup>
延床面積	1,177.72 m <sup>2</sup>	515.59 m <sup>2</sup>	729.66 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	普通教室	第1・2プログラミング室 総合実践室	食堂 会議室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 消火設備	—
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	不適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	消火設備	該当なし	屋根 外壁

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	普通教室棟(95棟)33-1	普通教室棟(96棟)33-2	昇降口棟(97棟)34
築年(西暦)	1989年	1990年	1990年
構造	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 4階	鉄骨造 1階
建築面積	210.03 m <sup>2</sup>	160.5 m <sup>2</sup>	297.33 m <sup>2</sup>
延床面積	852.07 m <sup>2</sup>	648.10 m <sup>2</sup>	297.33 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	家福実習室 普通教室	普通教室 更衣室	昇降口
主要な設備 (屋外を含む)	給排水設備 消火設備	給排水設備 消火設備	—
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	—	—
	中性化 ※3	—	—
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	屋根	屋根	屋根

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	特別教室棟(99棟)35	体育館棟(105棟)37	記念会館棟(108棟)39
築年(西暦)	1992年	2001年	2002年
構造	鉄筋コンクリート造 4階	鉄骨造 2階	鉄骨造 2階
建築面積	178.84 m <sup>2</sup>	1,490.52 m <sup>2</sup>	155.95 m <sup>2</sup>
延床面積	715.37 m <sup>2</sup>	1,701.77 m <sup>2</sup>	310.98 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	美術室 音楽室 社会科室	体育館	トレーニング場 多目的室
主要な設備 (屋外を含む)	—	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	—
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	—	—
	中性化 ※3	—	—
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

## 2. 対応方針

### (1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

### (2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
商品実習室棟(29棟) 1-1	予防保全を図る。
格技場棟(50-2棟) 7-1	長寿命化改修を行う。
商業科特別教室棟(57棟) 1-3	予防保全を図る。
特別教室棟(63-2棟) 24-1,2	長寿命化改修を行う。
管理棟(67棟) 27-1	設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。
特別教室棟(70棟) 27-2	長寿命化改修を行う。
普通教室棟(73棟) 29	長寿命化改修を行う。
特別教室棟(87棟) 24	長寿命化改修を行う。
誠友会館棟(94棟) 26	予防保全を図る。
普通教室棟(95棟) 33-1	・設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。 ・長寿命化改修を行う。
普通教室棟(96棟) 33-2	・設備等の定期更新を行う。 ・長寿命化改修を行う。
昇降口棟(97棟) 34	予防保全を図る。
特別教室棟(99棟) 35	予防保全を図る。
体育館棟(105棟) 37	予防保全を図る。
記念会館棟(108棟) 39	予防保全を図る。

### 3. 施設全体のスケジュール

#### (概要)

- 1 設備等更新  
劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
- 2 長寿命化改修  
中性化対策・屋上防水等を行うほか、内部・外部の改修を行う。  
(63-2棟、87棟)2018年度設計、2019年度から施工  
(95棟、96棟)2022年度以降設計・施工  
(70棟)2023年度以降設計・施工  
(73棟)2024年度以降設計・施工  
(50-2棟)2026年度以降設計・施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
商品実習室棟(29棟)1-1	予防保全	予防保全を図る。									
格技場棟(50-2棟)7-1	長寿命化改修										設計
商業科特別教室棟(57棟)1-3	予防保全	予防保全を図る。									
特別教室棟(63-2棟)24-1,2	長寿命化改修	設計		施工 3							
管理棟(67棟)27-1	設備等の定期更新			トイレ洋式化							
特別教室棟(70棟)27-2	長寿命化改修										設計・施工 4
普通教室棟(73棟)29	長寿命化改修								設計・施工 2		
特別教室棟(87棟)24	長寿命化改修	設計 63-2棟 に含		施工 63-2棟に含							
誠友会館棟(94棟)26	予防保全	予防保全を図る。									
普通教室棟(95棟)33-1	設備等の定期更新				トイレ改修				屋上防水		
	長寿命化改修										設計・施工 3
普通教室棟(96棟)33-2	設備等の定期更新								屋上防水		
	長寿命化改修										設計・施工 95棟に含
昇降口棟(97棟)34	予防保全	予防保全を図る。									
特別教室棟(99棟)35	予防保全	予防保全を図る。									
体育館棟(105棟)37	予防保全	予防保全を図る。									
記念会館棟(108棟)39	予防保全	予防保全を図る。									

#### 4. 概算費用

・総額 12億円(長寿命化改修)

## 5. 変更履歴

変更年月	変更内容
H31.3	管理棟(67棟)において、設備等の定期更新を追加
R2.3	普通教室棟(95棟)において、設備等の定期更新を追加
R5.3	特別教室棟(70棟)において、長寿命化改修工事のスケジュールを変更
R6.3	普通教室棟(95,96棟)において、設備等の定期更新を追加
R8.3	特別教室棟(70棟)及び普通教室棟(95,96棟)において、長寿命化改修のスケジュールを変更